

# 令和5年度 第1回 鶴岡市地域ケア推進会議

期 日 令和5年7月19日(水曜日)

時 間 10:00~11:50

場 所 鶴岡市役所

別棟2号館21~23号会議室

## - 次 第 -

### 1. 開 会

2. 開会のあいさつ 鶴岡市 健康福祉部 地域包括ケア推進室長

### 3. 委員自己紹介

### 4. 説明・協議(進行:委員長)

#### (1) 説 明

##### ① 今年度のテーマ決定の経過について

説明者 鶴岡市 健康福祉部 地域包括ケア推進室

##### ② 鶴岡市の高齢者福祉を取り巻く現状について

説明者 鶴岡市 健康福祉部 長寿介護課

#### (2) 協 議 (グループワーク)

テーマ「いつまでも 住み慣れた鶴岡で 暮らし続けるために」

**内容1** いつまでも安心して暮らし続けるために

こうだったらいいなとイメージすること

**内容2** そのために地域に必要なこと

**内容3** そのために自分たちができること

### 5. その他

### 6. 閉 会

令和5年度 鶴岡市地域ケア推進会議 委員名簿

R5.7.19

No.	選出母体	氏名	よみがな	役職名	備考
1	地縁組織	佐々木 邦夫	ささき くにお	鶴岡市コミュニティ組織協議会 会長	
2		加藤 藤 勝	かとう まさる	鶴岡市自治振興会連絡協議会 会長	
3	民生児童委員	阿部 和 廣	あべ かずひろ	鶴岡市民生児童委員協議会連合会 会長	
4	協同組合	佐藤 信也	さとう しんや	鶴岡市農業協同組合 福祉課 係長	
5		斉藤 眞貴子	さいとう まきこ	庄内たがわ農業協同組合 福祉介護課 係長	
6		黒子 和彦	くろこ かずひこ	庄内まちづくり協同組合 虹 理事長	
7	医療関係	遠藤 貴 恵	えんどう きえ	鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたる 課長	
8	社会福祉法人	今野 良一	こんの りょういち	鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課長	
9	民間組織	渡会 美香	わたらい みか	鶴岡市シルバー人材センター 業務係長	
10	地域包括支援センター代表	長谷川 典子	はせがわ のりこ	地域包括支援センターつくし 課長	
11	居宅介護支援事業者部会	伊藤 優 梨	いとう ゆり	指定居宅介護支援事業所みどり 管理者	
12	訪問介護事業者部会	原 田 光	はらだ ひかる	ヘルパーステーションあさひ 管理者	欠席
13	通所介護事業者部会	伊藤 優 子	いとう ゆうこ	デイサービスセンターなえづ 所長	
14	生活支援コーディネーター	佐久間 由希	さくま ゆき	鶴岡市地域包括ケア推進室 第1層生活支援コーディネーター	欠席

◆ 鶴岡市第2層生活支援コーディネーター

No.	氏名	よみがな	所属	備考
1	大江 山 義子	おおえやま よしこ	健康園地域包括支援センター	
2	五十嵐 玲子	いからし れいこ	地域包括支援センターなえづ	
3	佐藤 久美子	さとう くみこ	地域包括支援センターつくし	
4	佐々木 洋	ささき ひろし	永寿荘地域包括支援センター	
5	内山 友 梨香	うちやま ゆりか	地域包括支援センターかたりあい	
6	小野 マリ	おの まり	鶴岡西地域包括支援センター	
7	草島 睦 月	くさじま むつき	地域包括支援センターふじしま	
8	鈴木 智	すずき とも	地域包括支援センターはぐる	
9	渡部 り つ	わたなべ りつ	地域包括支援センターくしびき	
10	亀 井 寿	かめい とし	地域包括支援センターあさひ	
11	栗田 甚 吉	くりた じんきち	地域包括支援センターあつみ	

◆ 鶴岡市事務局名簿

No.	氏名	よみがな	職名	備考
1	加藤 早 苗	かとう さなえ	健康福祉部 長寿介護課 課長	
2	出村 真一	でむら しんいち	藤島庁舎 市民福祉課 課長	
3	山口 えみ	やまぐち えみ	羽黒庁舎 市民福祉課 課長	
4	佐藤 栄一	さとう えいいち	櫛引庁舎 市民福祉課 課長	
5	佐藤 智 井	さとう ともい	朝日庁舎 市民福祉課 課長	
6	剣持 健 志	けんもち たけし	温海庁舎 市民福祉課 課長	
7	菅 原 青	すがわら せい	健康福祉部 地域包括ケア推進室 室長	
8	齋藤 芳	さいとう よし	健康福祉部 地域包括ケア推進室 室長補佐	
9	佐藤 正	さとう ただし	健康福祉部 地域包括ケア推進室 主査	
10	大川 美 紀子	おおかわ みきこ	健康福祉部 長寿介護課 主査	
11	伊藤 健	いとう けん	健康福祉部 地域包括ケア推進室 調整専門員	
12	高橋 宏 知	たかはし ひろかず	健康福祉部 長寿介護課 主任	
13	柿崎 夏 実	かきざき なつみ	健康福祉部 地域包括ケア推進室 主任	
14	村上 聡	むらかみ そう	健康福祉部 地域包括ケア推進室 主事	

# 今年度テーマ:いつまでも住み慣れた鶴岡で暮らし続けるために

サブテーマ

委員集約テーマより

地域ケア個別会議報告書より

鶴岡市高齢者福祉計画  
第8期介護保険事業計画  
関連項目

## グループワークで話題にしたいこと・ご意見をいただきたいこと

地域の  
つながりと  
地域づくり

- ・自分たちで作る地域づくり
- ・担い手養成、ボランティア、福祉協力員について
- ・老人クラブの消滅の実態と今後の対応について
- ・通いの場づくり
- ・全世代を対象とした小地域での交流の機会・居場所づくりについて
- ・災害時の高齢者の避難について
- ・除雪支援について

- ・地域や親族との関係性が希薄化
- ・見守り、協力、助け合いの体制整備
- ・労働力を有する高齢者と地域ニーズをマッチングさせる仕組みが必要
- ・冬季は閉じこもりがちになる
- ・参加者の年齢層の違いから参加しない人も多い
- ・集まれる場がない
- ・免許返納や車を手放したことで外出できなくなり、地域とのつながりが薄れる

- I. 地域のつながりを深めるために
- II. いきいきと活動的な暮らしのために

安心して暮らし続けるためのしくみ・支え合い

- ・高齢者の医療機関への通院の送迎（要支援者相当）
- ・社会福祉協議会のおおぞら号は、台数が少なく予約が取りづらい。タクシー等を利用する場合、市内から離れている場所は費用負担が大きい
- ・移動支援について
- ・高齢者のためのデジタル活用支援について
- ・高齢者の受診の際の付き添い
- ・通院のために家族が仕事を休んで対応している場合がある。ヘルパー事業所等に頼んだ場合の費用負担が大きい

- ・移動手段がなく、買い物・通院・通いの場等へ行けない
- ・免許返納後の移動支援のしくみが不足している
- ・山間地の集落では利用できる社会資源が少ない
- ・地域により利用できるサービスが限定される
- ・お店等の地域資源が近くにない
- ・認知症独居高齢者の在宅生活支援
- ・難聴等により、集まりに参加しづらい
- ・同居家族以外の相談者がいない高齢者が多い。

- III. 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

医療・介護・福祉の充実

- ・地域医療・介護・福祉について
- ・医療・介護・福祉の充実を図る取り組み
- ・医療機関の減少に伴う地域医療体制の課題について
- ・デジタルの活用について

- ・精神科と内科の治療ができる医療機関が少ない
- ・高齢の親と障害がある子ども世帯への支援体制の整備
- ・認知症独居高齢者の住宅生活の継続を支援する取り組み（服薬や食事の管理等）が必要

- I. 医療・介護の連携



SDGs 鶴岡  
未来都市

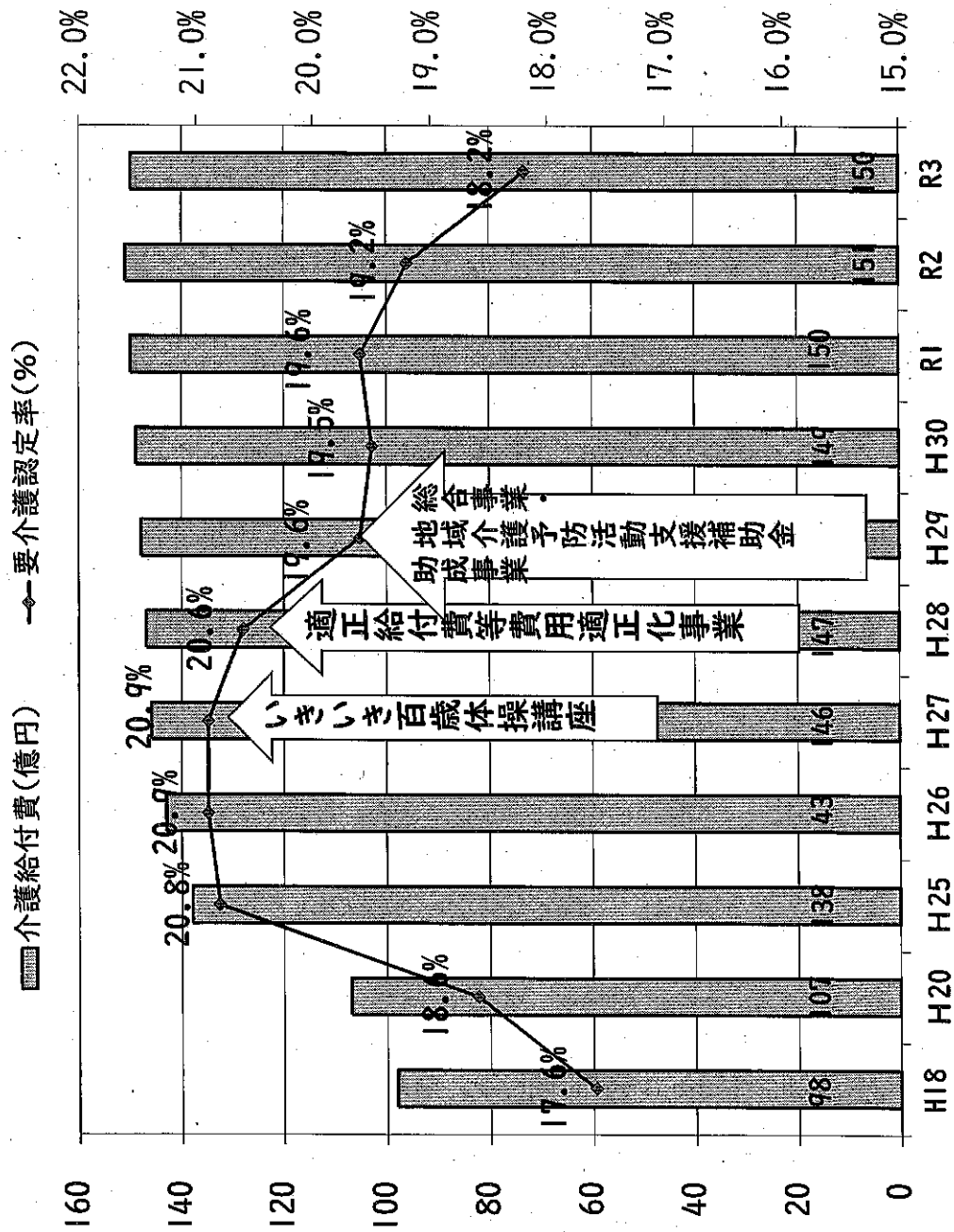
令和5年度  
鶴岡市地域ケア推進会議

# いつまでも住み慣れた鶴岡で 暮らし続けるために 鶴岡市の高齢者福祉を取り巻く現状について

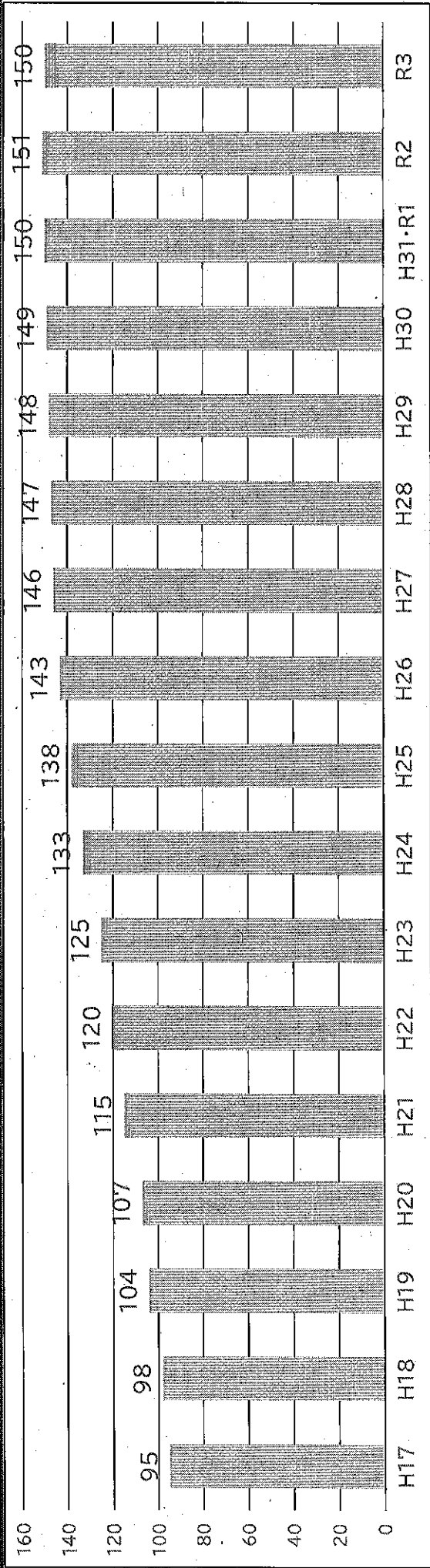
令和5年7月19日(水)  
鶴岡市長寿介護課

# (1) 給付額・介護認定率の推移と取組みの経過

- 平成27年度より  
介護予防通いの場づくりの推進を開始  
(いきいき百歳体操講座)
  - 平成28年度より  
適正給付等費用適正化事業開始
  - 平成29年度より  
地域介護予防活動支援補助金助成事業開始
  - 平成29年度より  
介護予防・日常生活支援総合事業開始  
(市民・地域全体で取組む介護予防と生活支援)
- ↓
- 要介護認定率低下
  - 介護保険給付費増加抑制  
(途中、介護報酬改定あり)



## (2) 給付額と介護保険料基準額



介護保険料基準額 4,158円 第3期 第4期 第5期 第6期 第7期 第8期  
 4,158円/4,333円/4,392円 5,342円 6,242円 6,580円 6,580円

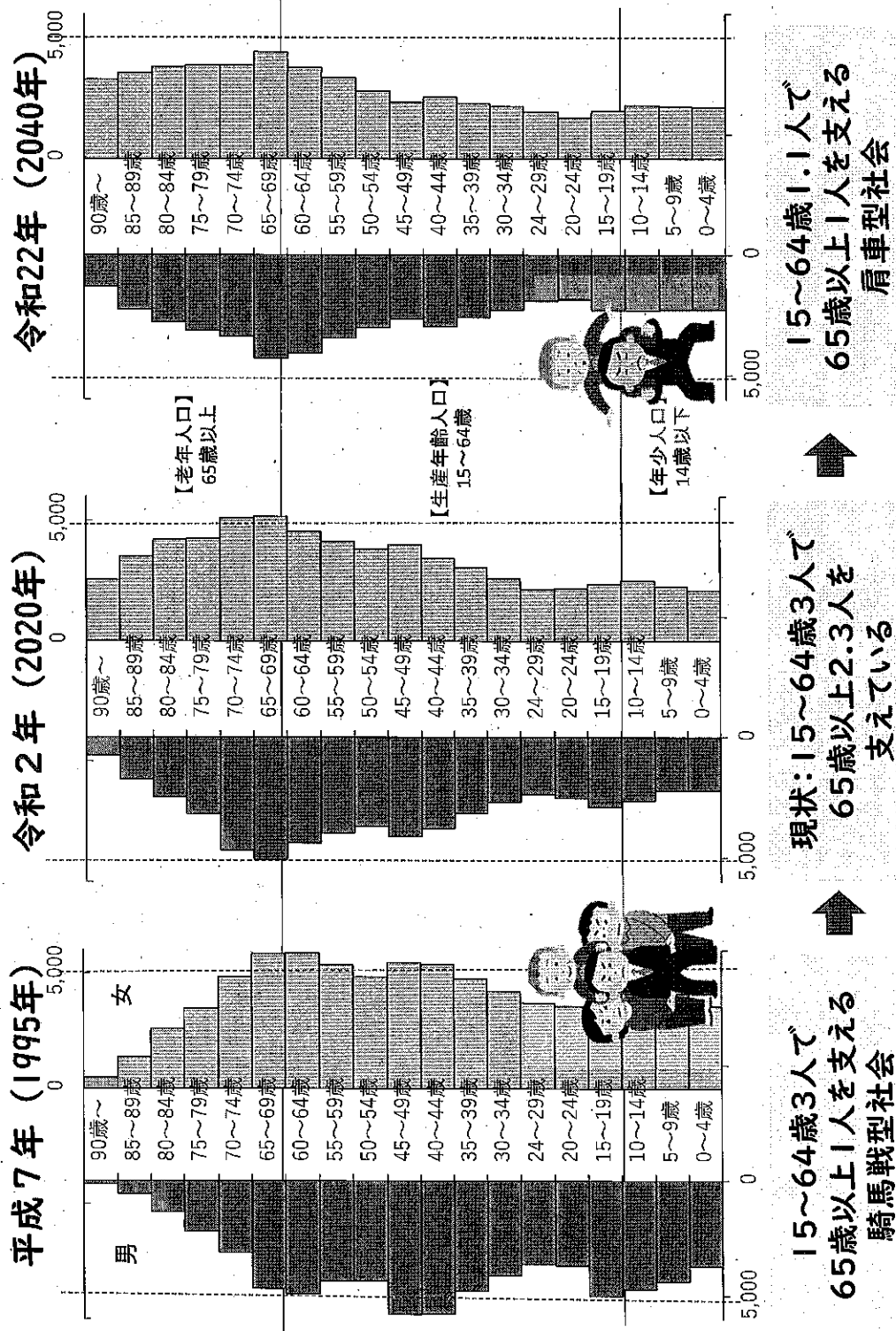
介護保険料基準額は、平成18年度と比べ「月額 約2400円」高くなり、県内の市の中でトップです

介護が必要な人・重度（寝たきり等）の人が  
 増えると ➡ 介護給付費が増える  
 ➡ 介護保険料が高くなる

**重要**

介護予防  
 要介護状態の軽減と悪化防止<sup>3</sup>

# (3) 鶴岡市の人口ビジョンから見えること



後期高齢化率の  
上昇

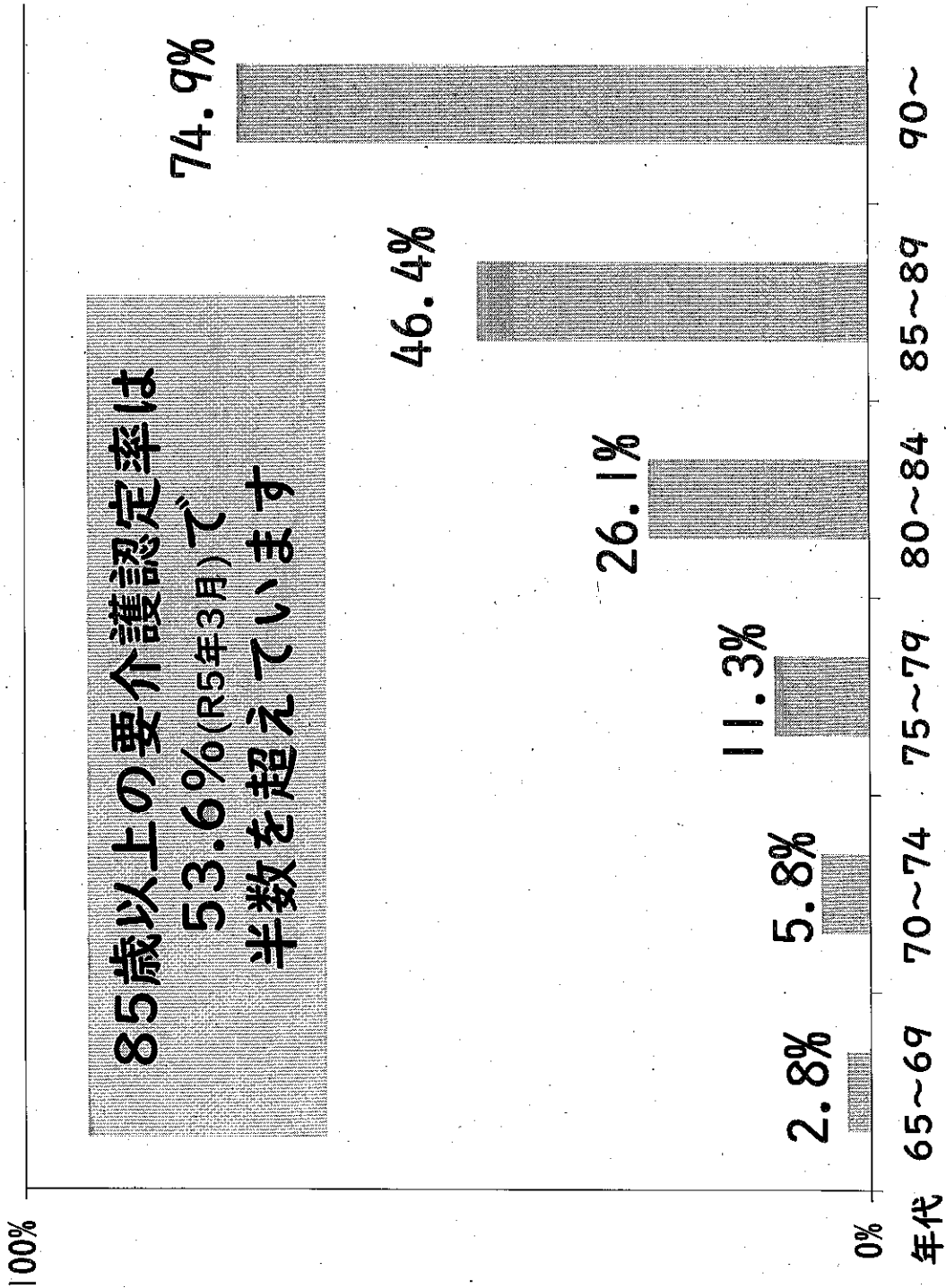
生産年齢人口の  
減少  
少子社会

介護保険料を  
納める人が減少  
介護職場で  
働く人が減少

(出典) 平成7年 国勢調査 / 令和2年 住民基本台帳 (R2年3月末現在) / 令和22年 鶴岡市人口ビジョン (令和2年改訂)



## (4) 年代別の要介護認定率





(5) 鶴岡市高齢者福祉における重要課題

介護予防

生涯現役

要介護状態の軽減

重症化の防止

介護保険サービスに頼らずとも  
困りごとや生活の支障を

身近で

解決しあえる、支え合える

仕組みづくり・地域づくり